

新規高等学校卒業予定者の就職内定状況調査の結果について

貴団体におかれましては、新規高等学校卒業予定者の就職に関し、多大の御尽力を賜り、感謝申し上げます。

このたび、「平成二十八年三月新規高等学校卒業予定者の就職内定状況調査」(平成二十七年十月末現在)の結果がまとまりましたので送付いたします。

今回の調査結果によると、就職内定率は前年同期を二・三ポイント上回る七十二・四%となり、六年続けて前年を上回る結果となりました。貴団体において、就職に関し御尽力いただいておりますことに御礼申し上げます。

一方、就職内定に至っていない生徒は約五万一千人に上るなど、引き続き就職に向けた努力が続けているところです。

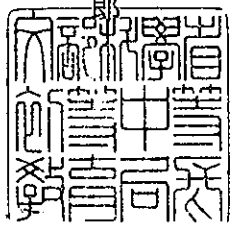
就職は、生徒が将来に希望を抱き、職業生活に入ろうとする重要な第一歩であります。貴団体におかれては、新規高等学校卒業予定者の求人枠の確保・拡大を図られますよう、格別の御配慮をお願い申し上げます。

採用選考に当たっては、求人秩序の確立を図り、併せて適正な推薦・選考が行われるとともに、女子生徒にも男子生徒と実質的に均等な機会が与えられますよう、御配慮をお願い申し上げます。

なお、貴団体傘下の会員各企業にも、この旨御周知くださいますよう併せてお願い申し上げます。

平成二十七年十二月十一日

文部科学省初等中等教育局長 小松 親次郎



全国中小企業団体中央会 専務理事 殿